



ご長寿おめでとうございます

武田ムラさんが満100歳に

1月9日に満100歳の誕生日を迎えられた武田ムラさん(御前)のもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。また、当日は東京都に住む息子さん夫婦もお祝いに駆け付け、入所されている施設の皆さんとともに祝福しました。

長生きの秘訣を尋ねると、息子さんは「くよくよ考えない性格で、前向きな日々を送っていることだと思う」と話されました。これからも元気で過ごしてください。

紙ヒコーキの滞空時間を競う

JAL折り紙ヒコーキ全国大会秋田予選会

12月16日、紙ヒコーキの滞空時間を競う「第2回JAL折り紙ヒコーキ全国大会秋田予選会」が美郷町中央体育館で開催され、町内外から集まった70人が参加しました。参加者は、指導員から紙ヒコーキの折り方や飛ばし方についての講習を受け、念入りに翼の角度調整や投げ方の工夫をしながら大会に臨みました。

熱戦が繰り広げられた今大会。このうち、小学生以下の部に出場した高橋徹平さん(仙南小4年)が見事優勝し、4月に開催される全国大会への出場権を獲得しました。

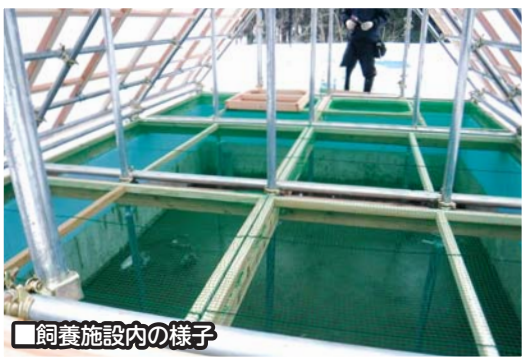


国内初となる研究

上海ガニの養殖がスタート

美郷町と連携協定を締結している株式会社龍角散と、東京生薬協会(藤井隆太会長)による上海ガニを使った学術研究が美郷町で行われることになりました。上海ガニの脱皮殻からは、疲労回復や老化防止に効果があるとされている「キトサン」が抽出でき、動物生薬や医薬品、化粧品などに使用されています。

研究初日の12月27日には、雄と雌を合わせた生後3カ月の上海ガニ200匹が町内の飼養施設へ放流されました。研究は2021年3月末まで行われる予定で、キトサンの効率的な抽出方法や、飼養技術の確立を目指します。



飼養施設内の様子



元日に精進を誓う

美郷町相撲連盟の新年初稽古

1月1日、美郷町相撲連盟(伊藤福章会長)が主催する新年初稽古が美郷中学校相撲道場で行われ、小学生から社会人までの29人が参加しました。四股踏みやすり足などの基本稽古で体を温めた後は、本番さながらの取組を行いました。先輩力士の胸を借りる場面もあり、力いっぱいぶつかり合う音が道場内に響き渡りました。

当日は、美郷町出身力士の庄司(武蔵川部屋)が激励のために訪れ、取材に対し、「声を掛け合っているし、良い稽古ができていると思う。一生懸命頑張って、強くなってほしい」と話しました。



MISATOPICS

町の話





上手になったよ!

後三年スキー場でスキー教室

1月12日から14日にかけて、後三年スキー場でスキー教室が開催されました。このスキー教室は、美郷町スキー連盟の皆さんによる指導のもと行われ、町内各小学校の1年生から3年生までの希望者が参加しました。

「この日が初めてのスキー」という参加者もいた今回のスキー教室。1日目は慣れないスキーに苦戦しているようでしたが、3日目には見違えるほど上達し、晴天に恵まれたスキー教室を楽しんでいました。

新年最初の腕試し

新春囲碁・将棋大会

1月12日、新春恒例の囲碁・将棋大会が美郷町中央ふれあい館で開催され、町内の16人が参加しました。参加者たちは日ごろ鍛えた腕を競い合い、対局後は感想戦を通して笑顔でお互いをたたえ合いました。

■囲碁の部

優勝 高橋 房雄 さん(上畑屋)
準優勝 高橋 冬樹 さん(一丈木)
第3位 飯田 義信 さん(菅谷地)

■将棋の部

優勝 小林 武夫 さん(上鍵田)
準優勝 木元 喜代人 さん(東高方町)
第3位 今川 慧 さん(千屋南部)



JAL美郷連携プロジェクト

JAL空育® ~折り紙ヒコーキ教室~

1月17日、美郷総合体育館リリオスで「JAL空育® ~折り紙ヒコーキ教室~」が開催され、町内各こども園の5歳児合わせて121人が参加しました。

折り紙ヒコーキ教室は、紙ヒコーキの作り方と飛ばし方についての指導からスタート。折り紙ヒコーキ協会が認定する指導資格を持ったJAL職員からは「野球投げではなく、空気に乗せるように投げると上手に飛ばせる」とのアドバイスがあり、それを聞いた園児たちは上手に飛ばそうと、夢中になって紙ヒコーキを飛ばしていました。



全国レベルの技術を習う

秋田銀行バスケットボールクリニック

1月19日、秋田銀行女子バスケットボール部によるクリニックが美郷中学校で開催され、美郷中学校女子バスケットボール部の生徒24人が参加しました。

講師を務めたのは、後藤弘志監督、小滝道仁ヘッドコーチ、美郷町出身の加藤三津子選手、横手市出身の柴田知恵選手の4名。今回のクリニックは、個人のオフェンス(攻撃)技術の向上を主な目的としており、スピードを重視した練習などが行われました。

クリニック終了後、美郷中学校女子バスケットボール部キャプテンの鈴木杏梨さんが、お礼の言葉として「新しい自分にチャレンジすることが大事だと学ぶことができた。学んだことを生かして、今後の練習を頑張っていきたい」と話しました。また、加藤選手は取材に対し、「私が最近感じるのは、バスケットを楽しむことが大切だということ。楽しいと思うことが『次も頑張ろう』という気持ちにつながると思うので、楽しむことを忘れないでバスケットを続けてほしい」と話しました。

